

山口市芸術家育成支援事業

第11回やまぐち新進アーティスト大賞

第11回やまぐち新進アーティスト大賞受賞者

さ さ き のりこ
佐々木 範子

応募アーティスト数：10名

最終選考ノミネート者：7名

うえだ こうさち 上田 幸吉	(58)	かたやま りょうこ 片山 涼子	(36)
さ さ き のりこ 佐々木 範子	(48)	たに やすひろ 谷 康弘	(37)
つちや ひろこ 土谷 寛子	(37)	はらだ かずあき 原田 和明	(46)
よしだ あかり 吉田 朱里	(30)		

(50音順・敬称略、年齢基準日：審査日)

(総 評)

新進アーティスト大賞10年の記念展を行って一区切りついた後の第11回は、絵画、工芸、写真、その他の分野から10名の応募があった。審査会場での投票の結果、7人が最終選考にノミネートされ、二回目の投票で3名が大賞候補者となった。ここで審査員がそれぞれ意見や感想を述べ、協議し、最終的に挙手によって大賞受賞者を佐々木範子氏と決定した。

佐々木氏の表現力の高さは審査員全員が認めるものであった。今後も地元根差した活動と、さらなる活躍を大いに期待したい。

(第11回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 斎藤郁夫)

(やまぐち新進アーティスト大賞選評)

3作品「果ての実」「陽光」「一粒」は地域の自然をモチーフにブルー系統の単色で描かれた水彩画である。それぞれの作品で白(余白)を効果的に取り入れているところが印象的で、巧みな構成力と高い描写力を感じる。また単色にも関わらず、色の濃淡を使い分け、それぞれ異なる印象を与える3作品に仕上げた表現力にも感心する。作者の作品集から近年の精力的な創作活動がうかがえ、今後のより一層の飛躍に期待したい。

(第11回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員 平川和明)

・・・第11回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

会田 大也 (山口情報芸術センター学芸普及課長)

石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館副館長)

斎藤 郁夫 (山口県立美術館学芸参与)

平川 和明 (山口大学教育学部講師)

水谷由美子 (山口県立大学国際文化学部長)

大和 保男 (陶芸家)

(50音順・敬称略)